紙針ホッチキス

P-KISS 15

取扱説明書

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

4011072(00/01)

目　次

はじめに

このたびは、紙針ホッチキス P-KISS をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書の表記について

お願い

本機が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

MEMO 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにさまざまな表示を使用しています。

	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定されることが書いてあります。

■表示について

「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。	**「してはいけないこと」を意味しています。** この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。	**「しなければいけないこと」を意味しています。** この記号の中や近くの表示は、具体的な指示内容です。

使用上の注意

⚠ 注意	
⃠	**●分解や改造をしないでください。** けがの原因になります。故障の場合は販売店へご連絡ください。
	●乳幼児の手の届かない場所に保管してください。安定した場所に設置してください。 けがの原因になります。

免責事項

本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、または、重要書類の破損および、これにより生じた２次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ご使用上のお願い

お願い

機械のトラブルを避け、本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●本機は紙をとじる製品です。紙以外は挿入しないでください。
　紙以外の硬いものを入れると刃を破損する恐れがありますので入れないでください。

●紙針は開封後、お早めに使用してください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用及び保管をしないでください。
　・直射日光の当たる場所やヒーター等の熱源に近い場所
　・ほこりや湿気の多い場所
　・傾いたり振動や衝撃の加わる場所
　・温度が 10℃以下、40℃以上になる場所で使用しないでください。
　・温度が −20℃以下、60℃以上になる場所で保管しないでください。

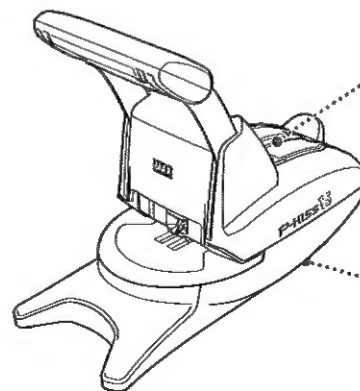
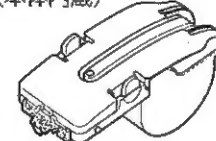
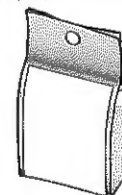
●本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
　シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶媒や薬品を使わないでください。
　機械が変形したり、変色するなどの原因になります。

●コーヒーやジュースなどの飲み物や、花瓶の水などを本機の上にこぼさないでください。

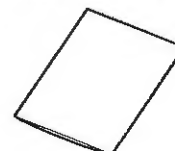
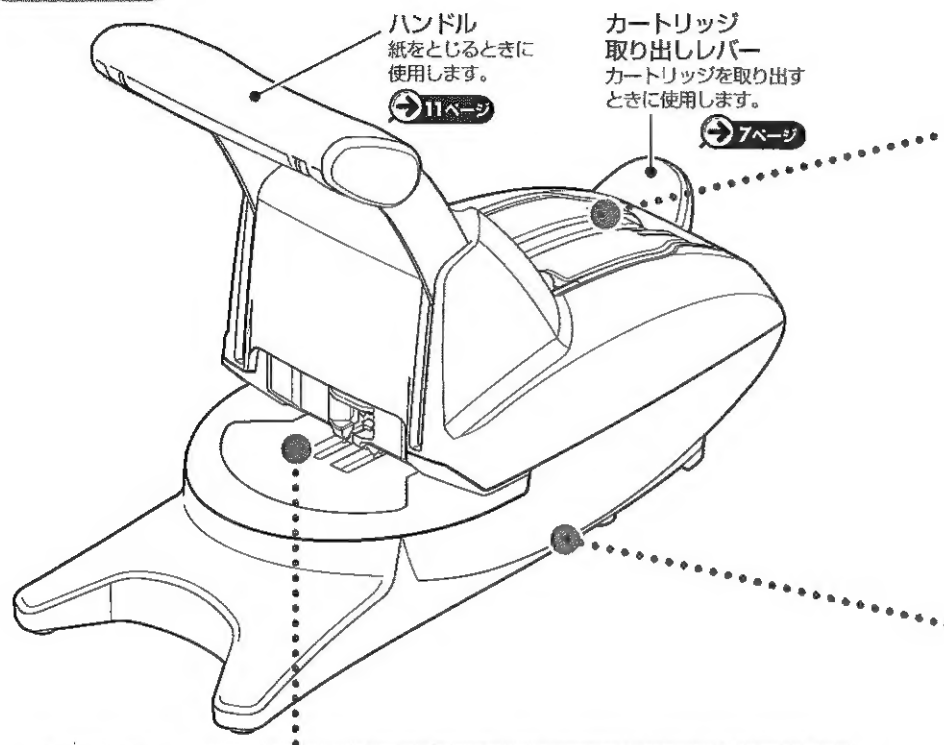
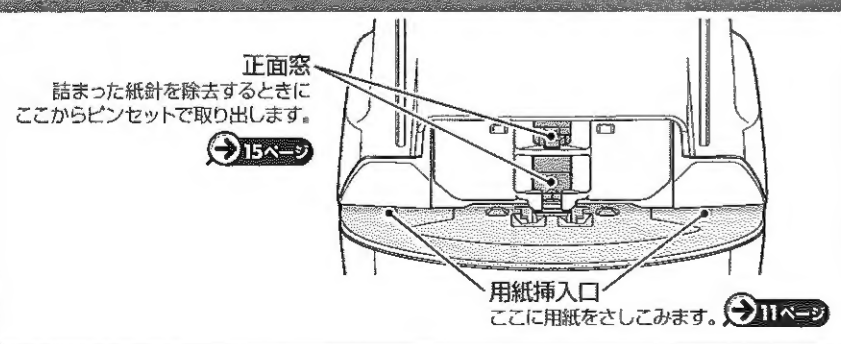
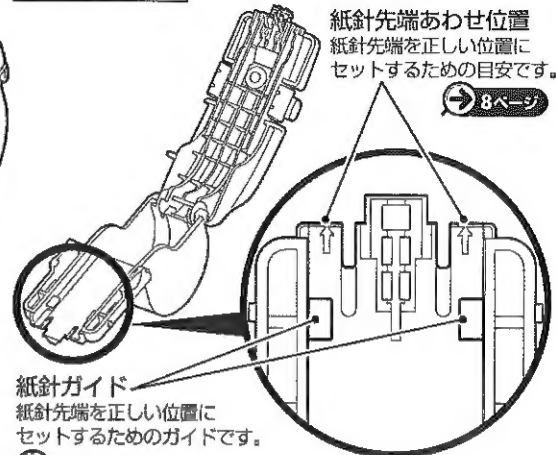
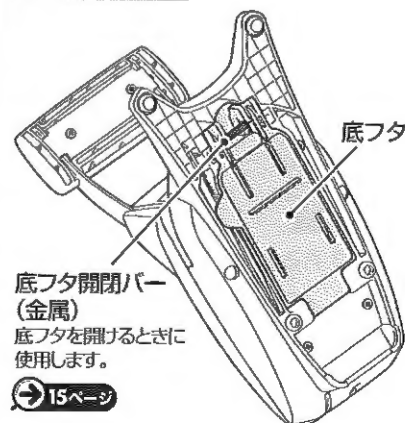
●本機内部に、ゴミや異物が入らないように注意してください。故障の原因となります。

●紙針は、直接、食材や医療器具に使用しないでください。

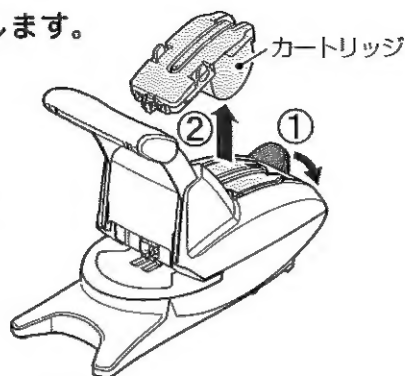
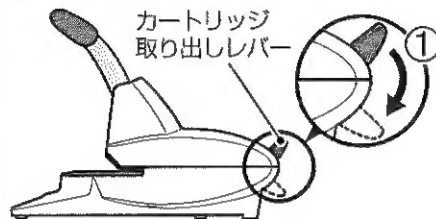
同梱品を確認する

梱包箱を開梱し、同梱品を確かめてください。

使用する

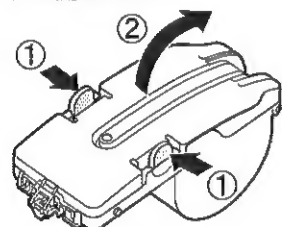
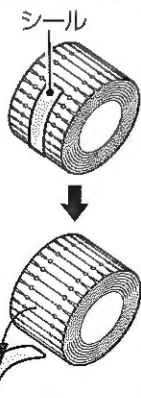
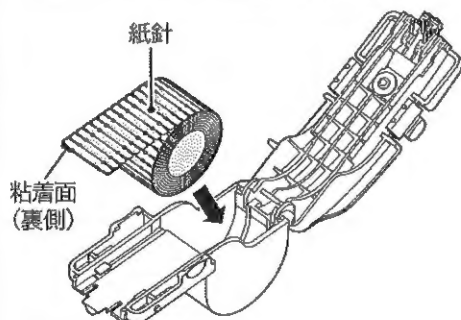
1　各部の名称とはたらき

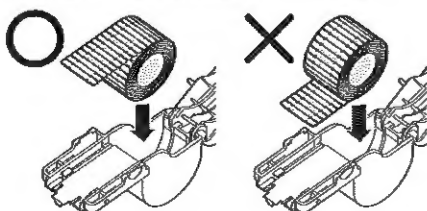
本　体

2 紙針をセット（交換）する

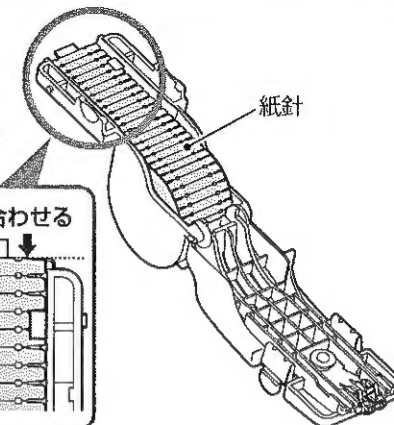
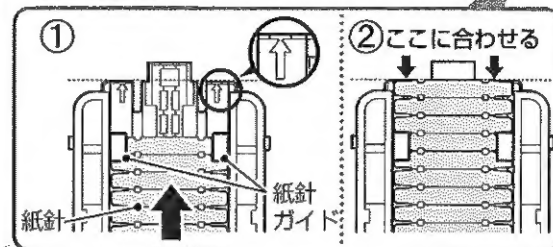
1 本体からカートリッジを取り出します。

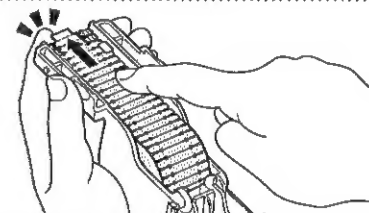
①カートリッジ取り出しレバーを下げ、
　カートリッジを浮かせ、
②本体から取り出します。

カートリッジ
取り出しレバー
①

2 カートリッジのフタを開き、紙針を置きます。

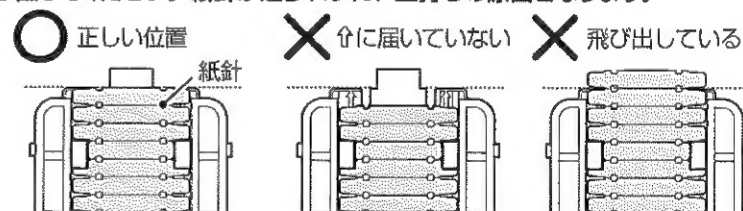
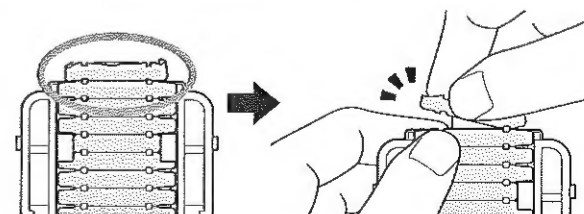
①両側の開閉ツマミを内側に押しながら
②フタを開きます。

③紙針のシールをはがし取ります。

④紙針をカートリッジにセット（交換）します。このとき、紙針の粘着面には手をふれないでください。また、汚れた手で紙針を触らないでください。とじ品質が悪くなります。

お願い

紙針を入れる向きに注意してください。

3 紙針の先端を引き出し、セットします。

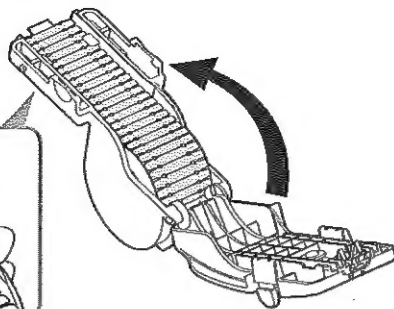
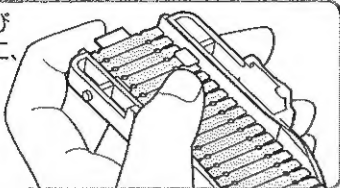
①紙針を紙針ガイドの下に通し、
②紙針の先端をカートリッジの⇧の位置に合わせます。

MEMO

絵のように指を⇧の位置に置き、指にあてるようにするとスムーズにセットができます。

お願い

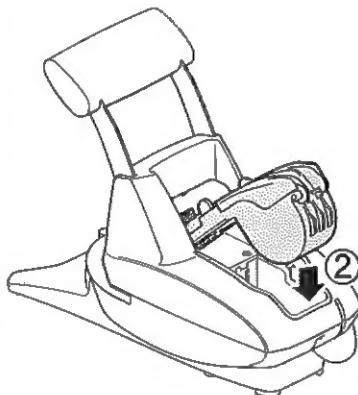
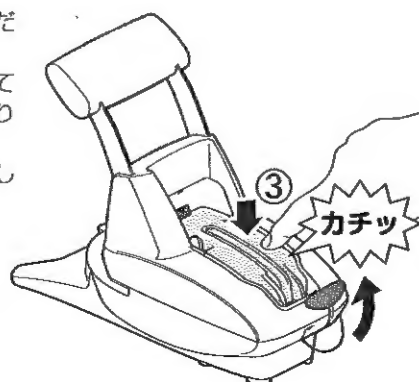
紙針の先端がカートリッジの⇧よりも飛び出しているときや、届いてないときはやり直してください。紙針が送られずに、空打ちの原因となります。

○ 正しい位置　✕ ⇧に届いていない　✕ 飛び出している

また、紙針の先端が変形しているときは、変形している部分を切り取ってください。

次のページへ続きます➔

4 カートリッジのフタを閉じます。

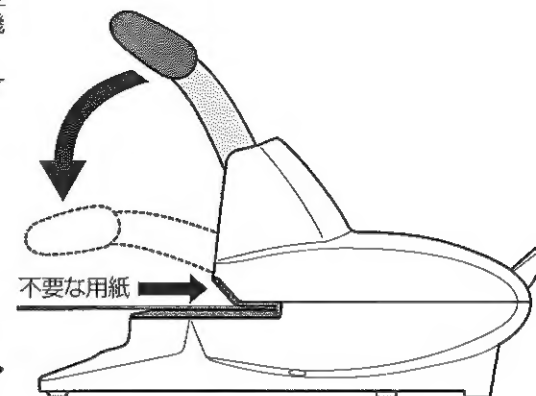
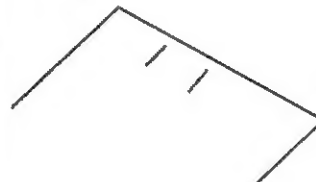
フタを閉めるときに紙針が動かないように、ゆっくり閉じてください。

5 カートリッジを本体にセットします。

①はじめに、カートリッジ先端を本体凸部の下に斜めに差し込み、

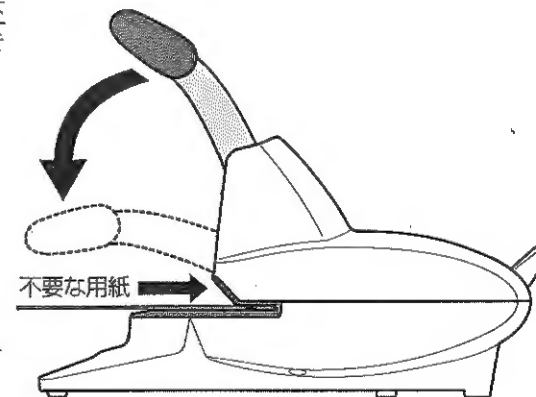
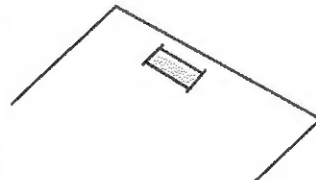
②カートリッジを本体内部に収めます。

③カートリッジを上から軽く押し込んでください。
正しくセットすると、「カチッ」と音がしてカートリッジ取り出しレバーが持ち上がります。
レバーが完全に持ち上がったことを確認してください。

6 不要な用紙を用紙挿入口に入れ、2 回ハンドルを押し下げます。

①ハンドルを 1 回押し下げることによって、紙針を待機位置に送り出します。
このとき、用紙には穴だけがあきます。

1 回目

穴だけあく

②もう 1 回ハンドルを押し下げ、紙針でとじ作業ができることを確認してください。

2 回目

紙針でとじられる

お願い

2回以上ハンドル操作をしても紙針が出てこないときは 3 からやり直してください。

3　紙をとじる

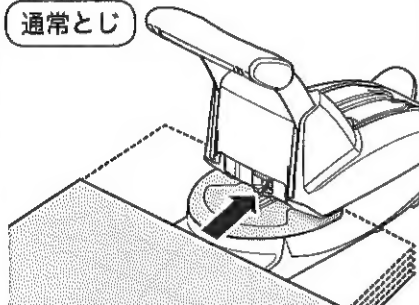
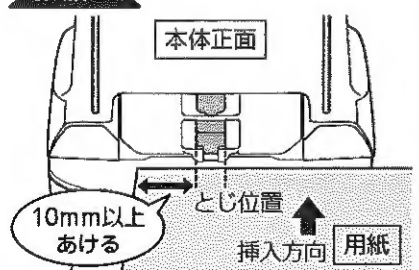
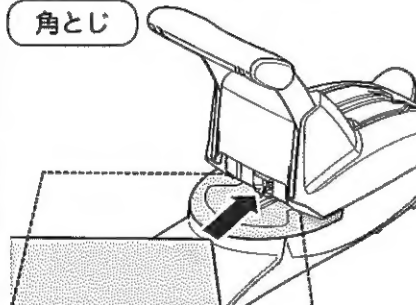
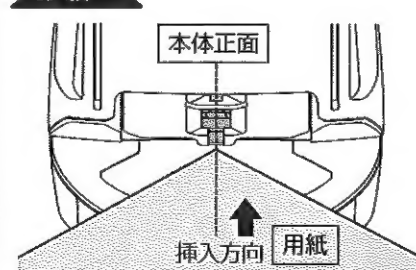
とじることができる枚数

用紙は PPC 用紙（64g/㎡）15 枚までとじられます。

とじる位置の目安

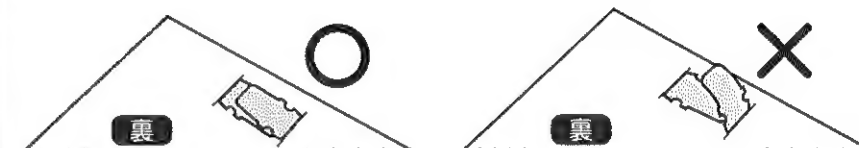
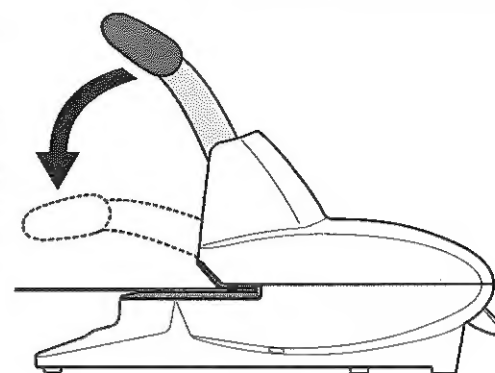
用紙の奥行きは
調整できません。
右記の位置で
とじられます。

操作方法

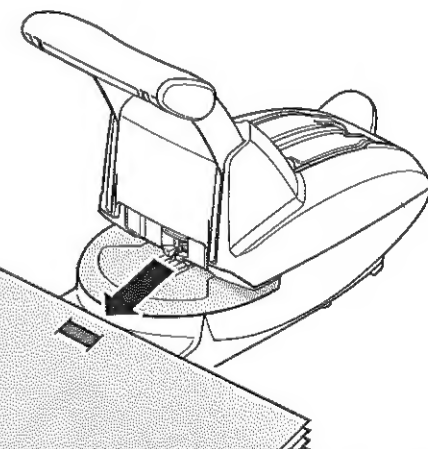
1 用紙を用紙挿入口からさしこみ、本体奥までしっかり押しあてます。

用紙の端をとじる場合は、図のようにとじ位置を用紙の端から10㎜以上あけてください。

お願い

本体正面の中心に用紙の角の中心を合わせ、挿入してください。
用紙を押し込みすぎると用紙がたわみ、うまくとじられません。ご注意ください。

2 ハンドルを最後まで押し下げます。

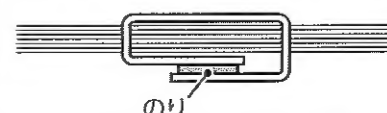
ハンドルは最後までしっかり押し下げてください。
押し下げが弱いと紙針が浮いたり、針足がとじられていないことがあります。また、紙針が中で詰まってしまう原因にもなります。

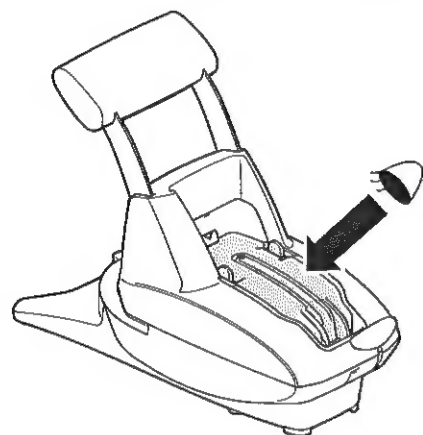
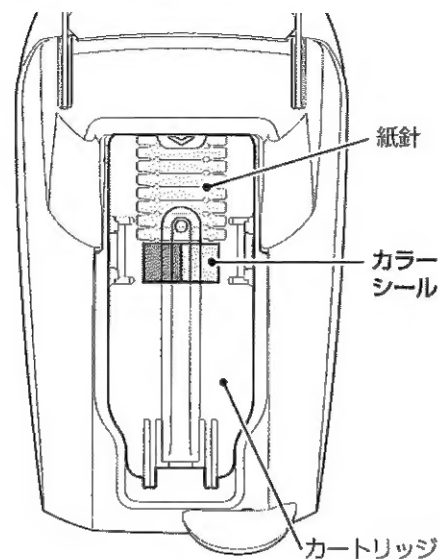
裏　○　裏　×

3 用紙をまっすぐ引き出してください。

お願い

- 用紙を挿入しないでハンドルを押し下げないでください（空打ち）。紙針がつまる原因になります。
- 同じ場所に二度とじをしないでください。
- とじるときに紙を動かさないでください。

MEMO

接着部は紙針の先端のみで、用紙には糊はつきませんので、紙針を外したいときは、ちぎり取ることができます。

のり

4　紙針を交換する

本体上からカートリッジをみると、紙針の残りの目安がわかります。
上から見てカラーシールが見えたら、紙針残量があとわずかです。
新しい紙針と交換してください。

交換方法は、「2　紙針をセット（交換）する」を参照して行ってください。

7ページ

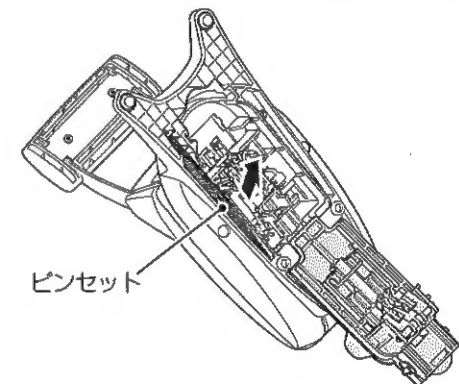
紙針が中でつまってしまったとき

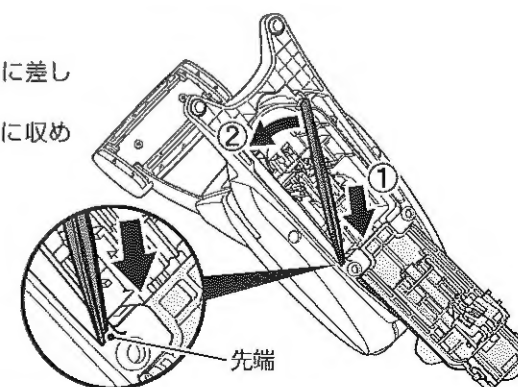
紙針には糊がついています。
打ち損じなどの多くは本体下部に溜まる仕組みになっていますが、ときには本体内部に留まることがあります。また、用紙を挿入しないでハンドルを押し下げたり、途中で止めたりすると、紙針が本体内部に留まります。そのようなときは、本体に内蔵しているピンセットを使用し、除去してください。

本体内蔵ピンセットの取り外しと収納

ピンセットは本体裏にあります。
底フタ開閉バーを引きながら底フタを開き、取り外してください。

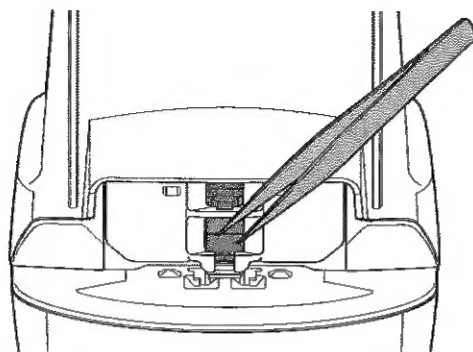
⚠ 注意
先端がとがっているタイプのピンセットです。
先端に注意してご使用ください。

取り外し時

収納する時

①ピンセットの先端を、本体内部に差し込みます。
②ピンセットの上部を、本体内部に収めます。

■正面から見て紙針が見えるとき

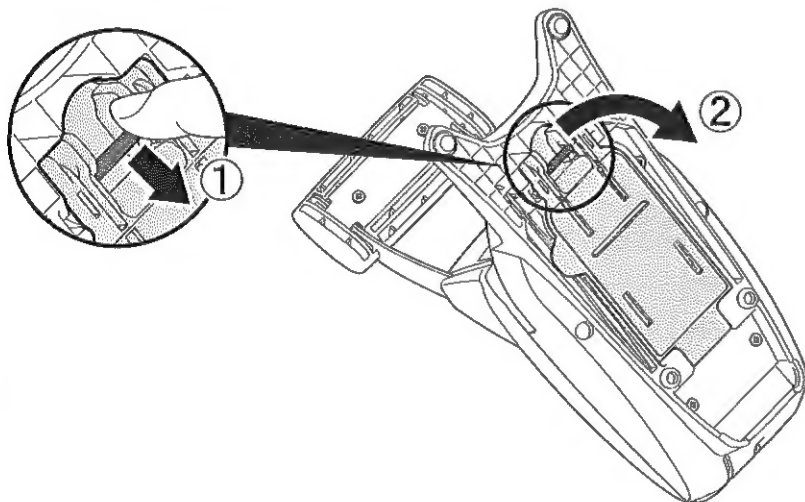
正面窓から詰まった紙針を取り出すことができます。正面窓にピンセットを差し込んで、紙針をつまみ出してください。

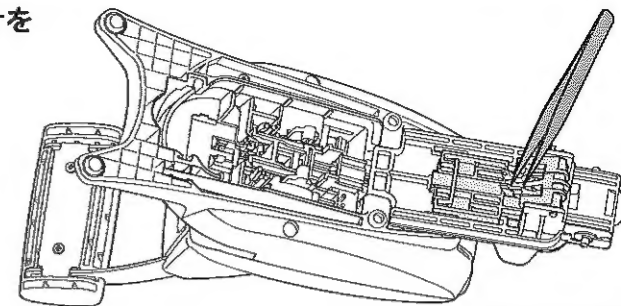
⚠注意

指を直接入れないでください、近くに刃があり怪我の恐れがあります。

〈本体正面〉

■正面から見て紙針が見えないとき

1 本体裏の底フタを開けます

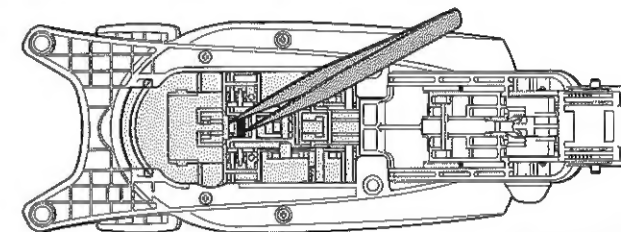
お願い

必ず机の上に置いて作業してください。
手を滑らせ本体を落下させる危険があります。

2 詰まっている紙針を除去します。

〈底フタ内側〉

本体内部で詰まっていることもあります。

本体内部の隙間にピンセットを入れ、内部をよく確認してください。

〈本体内部〉

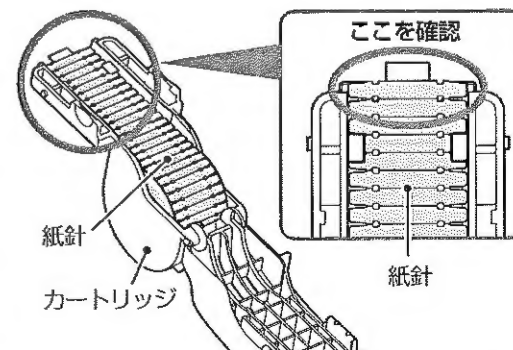
お願い

- 紙針がここ（底フタ内側や本体内部）に詰まっていると、正常にとじられないことがありますので、全て除去してください。
- 紙針を除去する際は、ピンセットで各部品を強く押さないでください。どうしても取り除けないときは無理に取ろうとせず、弊社までお問い合わせください。

⚠注意

紙針を除去する際は、ハンドルを動かさないでください。刃が出てきて怪我の恐れがあります。

3 紙針が詰まると、カートリッジ内にある紙針の先端が変形することがあります。

カートリッジを取り出し、紙針の先端を確認してください。紙針の先端が変形していたときは、その部分を切り取ってください。

➔8ページ

こんなときは

次のような場合は、下表に従いご確認をお願いします。表に従って対処しても解決できない場合は、故障の可能性があります。最寄りの当社営業所またはご購入販売店にご相談ください。

症　状	ご確認ください	対処方法
用紙がうまくとじられない	ハンドルを最後まで押し切っていない	カチっと感じられるまでハンドルを押し下げてください。
	用紙が多い	綴じ枚数をご確認ください。(PPC 用紙：15 枚)
	糊の接着力が落ちている	糊の接着力が落ちている紙針（ほこりが付着したり、直接日光が当たった等）を取り除いてご使用ください。
	本体内部で紙針が滞留している	本体に内蔵のピンセットで取り除いてください。どうしても取り除けないときは、弊社までお問い合わせください。
	本体内部に糊が付着している	底フタを開けて、付着した糊を取り除いてください。
用紙に穴だけがあいて針が出てこない	紙針が所定の位置にきていない	取説・本体シールをご覧の上、再セットしてください。
	本体の中で紙針が詰まっている	本体に内蔵のピンセットで取り除いてください。どうしても取り除けないときは、弊社までお問い合わせください。
	紙針がカートリッジの中でくっついてしまっている	紙針除去後、糊をふき取りご使用ください。
	用紙を本体奥まであてつけていない	奥まで当てつけとじ作業を行ってください。
	紙針の残り本数をご確認ください	針終わりなら、新品をセットしてください。
ハンドルが動かない動きがにぶい	本体の中で紙針が詰まっている	本体に内蔵のピンセットで取り除いてください。どうしても取り除けないときは、弊社までお問い合わせください。
カートリッジをセットできない	カートリッジ先端が、正しい位置にいない	取説・本体シールをご覧の上、再セットしてください。
異音がする	本体内部で紙針が滞留している	本体に内蔵のピンセットで取り除いてください。どうしても取り除けないときは、弊社までお問い合わせください。
とじたあとに用紙が抜き取りにくい	ハンドルを最後まで押下げていない	カチッと感じられるまでハンドルを押し下げてください。

アフターサービスのご案内

保証書について

- ●お手数ですが､お客様登録カードに必要事項をご記入の上 FAX にて送信するか､インターネットにて登録してください。
- ●お客様からご提供いただいたお客様の氏名・住所・電話番号及びご使用中の当社製品に関する情報は、新製品情報・イベントのご案内や当社製品・サービスの向上のために利用させていただきます。
- ●保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無償修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ●保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- ●操作がわからなくなった時には、本書をお読みいただけますよういつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

使い方のお問い合わせ

■修理サービスおよび不明の点は、お買い上げの販売店、当社営業所、もしくは下記お客様相談室へお問い合わせください。

フリーダイヤル　0120-510-200

または、有料ダイヤル　03-3669-6786

※携帯電話からは、有料ダイヤルにお電話ください。
※月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く）　9：00～18：00
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。通話内容は、サービス向上のため、録音させていただいております。

■ホームページアドレス

http://www.max-ltd.co.jp/op/

※携帯電話からは、有料ダイヤルにお電話ください。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8108 (代)
支店・営業所			
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 261-7141 (代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 236-4121 (代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館 2-14-28	TEL (0256) 34-2140 (代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8141 (代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安 2-4-87	TEL (052) 918-8620 (代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6444-2031 (代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-6331 (代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 411-5416 (代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭 2-10-3	TEL (019) 621-3541 (代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀 8155	TEL (0263) 26-4377 (代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町 29-1	TEL (054) 205-3535 (代)
販売関係会社			
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3-421	TEL (048) 651-5341 (代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2-15	TEL (076) 240-1871 (代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 761-3	TEL (087) 866-5599 (代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

MAX マックス株式会社
マックス株式会社オフィスプロダクツ営業部
〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6